

西要寺だより

第97号 令和2年8月12日



●コロナ禍のなかで・・・

コロナ禍のなか、「みなさんはお参り（月参り・法事など）をどのようになされていますか」とよく聞かれるので少し話をします。ただし、以下のことはあくまで一例です。周辺状況の変化（感染状況）によって変わってきます。家の方の対応・認識もさまざまなので、こちらとしましても、ケースバイケースで対応しています。

1、月参り

4～5月あたりは月参りをお休みされる家、お茶出しを止められる家があったりしましたが、ほとんどのお宅へは普通にお参りに伺っていました。私自身も体調を整え、手洗いやうがいを頻繁にして、外に行くときはマスクをし消毒液を携帯して出来るだけ感染しないように注意しております（もちろん今でもですよ）。

いつ終息するかわからないコロナ禍のなか、仏様に手を合わせることで心を落ち着くということもありませんか。

2、お葬儀

遠方から、特に電車などの公共交通機関を利用しないとお参りに来られない方は、残念ながら、お葬儀に参列されないケースが多いです。しかしながら、自家用車、もしくはレンタカーを使って来られる場合があります。ただ喪主さんの一方的な判断で遠方の親戚を呼ばない、というのはよくないでしょう。ひとこと声を掛けられた方が良いと思います。

3、法事

法事の場合もおおよそお葬儀と同様です。お葬儀でも法事の場合でも、どうしてもお参りに来てもらえない方々に対しては、「このような時期ですので、コロナが少し収まったらいつでもお参りにきて下さい」と言えいいのではないのでしょうか。法事も葬儀の場合と同様に一方的な判断で遠方の親戚の参列を断ることはよくないでしょう。ただ従来通り、多くのご親戚を呼ばれる場合もあります。もちろん、周辺地域の状況に依

りますが、感染対策を十分にされていたら構わないと思います。つまり、法事当日は、換気をして、なるべく人との距離を置くようにした方がいいでしょうね。なかなかスペース的に限界はありますが。

どうしても気になさる方は、西要寺の会館や本堂を使っただいても構いませんので、気軽にお申し出ください。たとえ、少人数であっても差し支えありませんので。

4、西要寺各種行事

残念ながら、今年度の毎月の定例法座については中止し、毎年5月に勤めている永代経法要を7月に延期しました。今後の予定は周辺地域の状況次第です。コロナの感染の拡大が続いていれば、毎月の定例法座は中止にせざるを得ないでしょうが、10月の報恩講法要の場合は中止ではなく、延期となります。

皆様は覚えておられるでしょうか。昨年の報恩講法要では“作品展”をしました。昨年の法要では、約1ヶ月前に作品展をすることを言いましたので、既存の作品を出すことはできるけれども、今から作るには急すぎると言われました。そこで、その法要中に、毎年、報恩講法要の時期に作品展をしましょう、といたしました。しかしながら、今年はこのようなコロナのことがありますので、作品展の開催は無理かと思います。何かご意見があればお申し出ください。

西要寺の各種行事について（開催の有無を含めて）は、西要寺のホームページ、あるいは西要寺から配布する案内状や寺報（西要寺だより）、また西要寺の南北の掲示板でお知らせします。

●永代経法要をお勤めしました

7月22日（水）23日（木）の2日間、永代経法要をお勤めしました。例年5月にお勤めしている永代経法要ですが、コロナの影響で7月に延期してお勤めしました。他のお寺では延期せずに、門徒さんの参拝



を中止したところもありました。目に見えないウイルスで、情報がまちまち、先行きが全く見通せないという不安・ストレス、外出したくても出られないので、人と話すことが少なくなった、もしくはほぼ無くなったという門徒さんの声も聞いていました。このような時期であるからこそ、法を聞いていただこう、人と話す機会を提供できたら、という思いがありました。総代さんと相談のうえで、5月は非常事態宣言の真った

だなかであったので、7月に延期しお勤めすることにしました。7月下旬頃から再びコロナウイルスに感染する人の数が増えてまいりました。やはり法要をお勤めすることは無理だったのでは、万が一のことが起こってからでは取り返しがつかないのではないかと、という思いもありました。

当日の法要の時間について、例年では午後2時から4時までお勤めするのですが、1日目（22日）は途中休憩無しで午後3時半頃まで、2日目（23日）はお経も短めにして3時過ぎまでというかたちにしました。お経やお話を短くした永代経法要となると、阿弥陀さまやご先祖に申し訳ない気持ちになりますが、そもそも永代経とは先祖・亡き両親など身近な人の死を御縁として、法を聞かせていただくことが大切なことです。



この時期ではのストレス・不安の思いのなか、確かな法、究極的な依り所である阿弥陀さまの救いのはたらきの話を聞かせていただくことによって、門徒の皆様が前向きになり、少しでも元気よく生活していける力になればと思います。1日目は30人ほど、2日目は20人ほどと通常よりも参詣者は少なかったのですが、感染者が増えている状況のなか、また暑いなか、お参りくださった方に御礼を申し上げます。

●戦争（沖縄戦）の映画の上映

浄土真宗本願寺派では沖縄戦のドキュメンタリー映画を制作しました。終戦75周年にあたる今年夏、京都・大阪・神戸など全国22の映画館で上映されます。

関西での上映場所は、以下の通りです。

大阪：第七藝術劇場

8月1日（土）～8月21日（金）

神戸：神戸映画資料館

8月14日（金）～8月25日（火）

【水・木休映】

京都：京都シネマ

7月31日（金）～



●愛唱歌の歌詞募集

浄土真宗本願寺派では、2023（令和5）年に親鸞聖人御誕生850年・立教開宗800年慶讃法要を勤められます。この法要を機縁に、世代を超えて長く広く親しまれ、皆が一緒に歌って元気になれる愛唱歌の制作・発表を行うことになりました。そこでこの度、その愛唱歌の歌詞を募集しています。応募締め切りは9月30日まで。ちなみに最優秀賞（1点）50万円、優秀賞（2点）10万円ですよ。

【応募用電子ファイル・ダウンロード場所】

浄土真宗本願寺派ウェブサイト

<https://www.hongwanji.or.jp/news/event/000825.html>



●住職の今年度の予定

今年4月から、毎週金曜日に龍谷大学（瀬田）の講義を担当しております。午前11時からの講義です。前期（4月～7月）の講義は、コロナウイルスの影響でインターネットを介してのオンライン講義になりました。後期（9月以降）は教室での講義になる予定だそうですが、周辺地域のコロナ感染状況により、変更されることは大いにあります。

◎今後の西要寺行事予定◎

なかなか、行事を行うことは難しい状況ですが、以下のように予定はしています。

【定例法座】

9月22日（火）午後2時より4時頃まで

講師：那須 公昭 師（浄土真宗本願寺派総合研究所 研究員）

【報恩講法要】

10月23日（水）～24日（木・祝）

午後2時より午後4時頃（予定）まで

講師：利井 唯明 師（本願寺派布教使、高槻 常見寺 住職）

場所：西要寺本堂（椅子席）

※なお、上記の【定例法座】【報恩講法要】について、周辺の状況（コロナ）により中止する可能性もあります。9月上旬頃に判断する予定です。開催の有無等について、西要寺ホームページ、南北の掲示板などでお知らせします。なお、直接、西要寺まで問い合わせいただいても構いません。